



特別展覧会

聖徳大学看護学部開設記念

「近世絵巻物コレクション」展

ごあいさつ

聖徳大学では、教養・人間性を育む聖徳教育とあわせて、高度な医療と地域の看護に従事できる実践力、看護実践における課題解決に向けた自主的な研究能力を培うことにより、「実践力」と「気品」を兼ね備えた看護師の育成を目指し、本年4月から看護学部を開設します。

これを記念し、本学で所蔵している学術資料コレクションの中から、わが国独自の伝統的な画法である大和絵の画風で描かれた近世の絵巻物を公開します。

絵巻物とは、内容を述べる詞書ことばがき(文章)と、それに対応する絵画が交互に配列された横長の巻物であり、ふるく中国において発達し、わが国には奈良時代に伝わりました。平安時代以降、各種の物語が絵として表現され、わが国独自の様式を生み出して展開しました。そして、江戸時代につくられた美しい色彩の絵巻物は、錦絵と同じように世界的にも高く評価されております。数百年以上経った今でも、描かれた絵画の色彩は鮮やかであり、その美しさは変わりません。

絵画としての美しさのみでなく、連綿体によって書かれた流麗で優美な詞書にも注目してご覧ください。

平成26年2月3日

学校法人東京聖徳学園理事長
聖徳大学学長
聖徳大学短期大学部学長
学園長 川並弘純



「竹取物語絵巻」下巻 江戸時代



「酒吞童子絵巻」下巻 江戸時代前期



「敦盛絵巻」上巻 江戸時代前期





「長恨歌絵巻」中巻 江戸時代前期



「七夕絵巻」下巻 江戸時代(元禄頃)



「伊勢物語絵巻」上巻 江戸時代前期



「不老不死絵巻」上巻 江戸時代前期



「浦島太郎絵巻」 江戸時代後期



「鶴の草紙絵巻」 江戸時代後期



絵巻物について

絵巻物とは、ストーリーをもった物語や説話などを絵画化し、内容を述べる詞書（文章）とそれに対応する絵が交互に配列された横長の巻物である。「絵巻」ともいう。時代的には10世紀から17世紀にかけて作られたものが多く、日本の伝統的な画法である大和絵の画風で描かれたものを中心としている。古くは奈良時代のものもあるが、本格的な絵巻の初めは、平安時代末期に制作された国宝『源氏物語絵巻』である。

「絵巻物」「絵巻」という語は近世になってから造られた語といわれ、中世では『源氏絵』とか『平治絵』、『一遍聖絵』のように、「・・・絵」と呼ばれていた。

その内容は、物語・説話・軍記物語・寺社の縁起、神仏の靈験譚、高僧の伝記、御伽草子など多様である。このうち、中世末から近世にかけて数多く現れたお伽草子絵巻を冊子本形態の絵本とあわせて、「奈良絵本・絵巻」と呼ぶこともある。

今回展示する絵巻は、「奈良絵巻」を主とするが、『竹取物語』（物語）、『敦盛絵巻』（幸若舞曲）は中世以前の作品に基づき近世に作られた絵巻である。『浦島太郎絵巻』のように、素朴な感じを与える、サイズも小振りの作品がある一方、『酒吞童子絵巻』、『長恨歌絵巻』などのように、料紙も絵も詞書も贅を凝らした仕立ての豪華本もある。これらの豪華な絵巻は、おそらく大名などからの依頼によって制作されたものであろう。

絵巻の鑑賞は、絵巻を抜き、ほぼ60センチメートルぐらいずつ見て行く。抜き、見て、巻く、という動作を繰り返すが、右から左へ時の経過や事件の進行に従って、物語も絵も展開していくのである。



会 期 : 平成26年2月3日(月)～8月2日(土)
午前9時～午後5時 (休館 毎日曜・祝日と学事日程による休業日)

会 場 : 聖徳大学8号館 ギャラリー

会場への案内 : JR常磐線・JR乗り入れ地下鉄千代田線・新京成線とも松戸駅下車、
東口より徒歩5分 (学内に駐車場はありません。)

お問い合わせ: 聖徳大学川並弘昭記念図書館
Tel: 047-365-1111(大代) <http://www.seitoku.jp/lib/>

